

令和５年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立大信小学校長

令和５年４月１８日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は６年生で、国語、算数の２教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部分であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教 科	全国平均 正 答 率	下回って いる	やや下回 っている	ほぼ同じ	やや上回 っている	上回って いる
国語	６７．２％	○				
算数	６２．５％	○				

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	71.2%	○				
情報の扱い方に関する事項	63.4%	○				
話すこと・聞くこと	72.6%	○				
書くこと	26.7%	○				
読むこと	71.2%			○		

【考 察】

- 「情報の扱い方に関する事項」の領域では、原因と結果など情報と情報との関係について理解することに課題が見られました。文章の中から様々な情報を整理し、文章がどのように構成されているのかを読み取る経験を重ねていきます。
- 「書くこと」の領域では、図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題が見られました。自分の考えを書くだけでなく、図表やグラフなどから読み取ったことを基に、相手意識をもって自分の考えを文章に表す活動を数多く設けていきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	67.3%	○				
図 形	48.2%	○				
変化と関係	70.9%	○				
データの活用	65.5%	○				

【考 察】

- 「数と計算」の領域においては、たし算とかけ算が混合した整数の計算をしたり、（ ）がある計算をしたりする問題で課題が見られました。計算のきまりや計算の仕方などを繰り返し練習し、基本的な計算を確実にできるように指導していきます。
- 「データの活用」の領域においては、二つの観点で分類整理されている表から、条件に合う数を読み取る問題で課題が見られました。表やグラフから目的に合ったデータを読み取れるように、データの特徴や傾向を捉え、結論を導いたり考察したりする授業を行っていきます。